

国保財政の健全化に向けた取組

1 医療費適正化事業等の実施状況(平成27年度)

No.	事業名	事業目的	対象者		実施状況
			年齢	対象者	
1	特定健診事業 特定保健指導事業	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症肥満)に着目した生活習慣病の予防	40～74	全員 (特定保健指導は、特定健診の結果、基準該当者に対して実施)	<特定健診> 対象者数 31,449人 受診者数 15,242人 受診率 48.5% <特定保健指導> 受診者数 1,877人 修了者数 358人 修了者の割合 19.1%
2	ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の使用率を向上させることにより、市民の医療費の自己負担額の削減を図る。	40～74	ジェネリック医薬品に切り替えることにより、100円以上自己負担額の削減が期待できる被保険者	通知回数 年9回 通知件数 6,572通 利用率 64.7% <small>※利用率は厚生労働省H28.9.13発表「調剤医療費(電算処理分)の動向」H28.3 数量ベース数値</small>
3	糖尿病性腎症重症化予防事業	レセプトデータと健診データを分析し、基準該当者のうち希望する方に対し、服薬管理、食事指導、運動指導などの体調管理を促すことにより、新たな人工透析患者の移行を予防する。	40～74	基準該当者	参加者数 6人
4	受診勧奨通知事業	レセプトデータと健診データを分析し、医療機関で生活習慣病の治療が必要な方に対し、受診勧奨通知を発送し、病気の重症化を予防する。	40～74	医療機関で生活習慣病の治療が必要な方	通知件数 195通
5	レセプト点検	診療報酬・調剤報酬等の算定方法及び算定点数等、レセプト請求内容の点検を実施	—	—	<財政効果額> 減点となったレセプトの金額 17,068千円 返戻となったレセプトの金額 16,505千円 <委託料> レセプト二次点検委託料 10,278千円
6	療養費の適正化	柔道整復師の施術に係る療養費支給申請書の点検を行い、確認の必要があると思われる支給申請については、被保険者に対し調査票を発送する。(平成27年7月から)	—	多部位負傷・頻回傾向等の施術を受けている方	発送通数 122通

2 歳入の確保及び負担の公平性

No.	項目	内容			
		25年度徴収率	26年度徴収率	27年度徴収率	
1	滞納繰越額の削減(徴収率の向上)	現年度分	89.3%	90.0%	90.7%
		滞納繰越分	27.5%	29.2%	34.5%
		全体徴収率	77.6%	78.0%	79.9%
2	口座振替の勧奨	【ペイジー口座振替サービス】 保険年金課窓口において、金融機関のキャッシュカードによる口座振替手続きを可能とする。 (平成28年2月運用開始) 平成27年度ペイジー口座振替サービス利用実績 48件			